

玄関土間スペースに設けた書斎から、LDK、洗面スペース、寝室と連続させた空間構成は、共働き夫婦二人の生活動線そのもののユニークな間取り。梁型を消しながら窓を生かしてデザインされたベンチは、LDKを大人のくつろぎ空間へと生まれ変わらせている。

リフォーム前後の写真



③ベンチと窓を一体で設え、開口部のプロポーションを整えている（ベンチ下は収納）



④2つの窓を一对の意匠として整えている



⑤梁型の形を整理している



⑥北側の書斎、隣地の緑地帯に反射した光で満たされる



⑦収納棚で緩やかにスペースを仕切る



⑧窓の無い洗面所に乳白ガラスで光を取り込む



⑨住戸内の最も長い距離を見通せる



⑩コアと既存の窓をずらして配置している



⑪引込戸が設えてあり室を区切ることが可能



■リフォーム前

①複雑な梁型が存在

②マンション特有のプロポーションの窓

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

30代夫婦のための全面改修です。ご主人は大手組織設計事務所、奥様は古道具屋に勤務しており、弊社の設計と三者で計画を進めること、古道具屋の商品を採用する事が要望でした。3面を外気に面する事が特徴の住戸で、南側には住宅街が続き空が広く感じられ、北側には緑地帯が存在します。水廻りと収納をコアとして配置した回遊性のある計画です。南側の明るいLDK、北側の落ち着いた寝室・書斎の2つのエリアに分かれています。コアは既存の窓の位置を平面的に除けな

がら配置する事で、生活の中で住戸の持つ最も長い距離を認識でき、住戸の外へも広がりを感じられるよう計画しています。2人の生活時間のすれに配慮した計画で、玄関から時計回りにトイレ→キッチン→洗面所・浴室→寝室と配置し、ご主人の深夜の帰宅時に奥様を起こさない様な工夫をしています。既にお持ちの家具との相性から採用する素材を選定し（チェスナット、ノッティオーク、アッシュ、左官等）、これまでの生活の蓄積の延長にある上質な住空間の実現を目指しました。

性能向上の特性  
室内空気環境

特に配慮した事項  
整湿性能の高い左官材と左官下地の紙クロスを選定している。

データ

所在地	東京都杉並区	新築竣工年	2001年	築後年数	17年	施工期間	70日間
該当工事床面積	60.51㎡	総工事床面積	60.51㎡	該当部分工事費	1050万円	総工事費	1050万円
居住者構成	65歳以上：0人 / 15～64歳：2人 / 15歳未満：0人						

リフォーム前の平面図



※斜線部はSL-100の範囲を示す  
改修前平面図 S=1/150

リフォーム後の平面図



改修後平面図 S=1/150

リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □クローゼット/ □マンション共用部分/ □その他